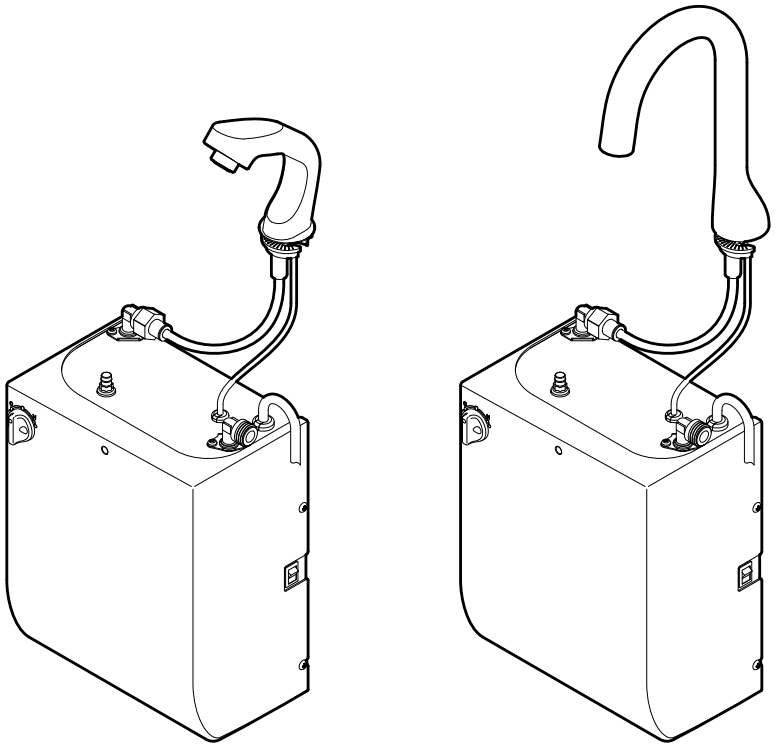
ITOMIC
お湯のトータルプランナー

工事要領・取扱説明書

製品名：自動水栓付小型電気温水器(元止式)

型　式：ESWM3



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。
設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。
（この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、
弊社は一切責任を負いません。）

株式会社 日本イトミック
〒 131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 東京スカイツリーイーストタワー 24F
TEL:03（3621）2121（大代表）　FAX:03（3621）2130
フロント課（修理依頼承り先）
TEL:03（3621）2161（代表）　FAX:03（3621）2163

もくじ

**共通項目 ・・・

共通項目

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくためにお守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。

⚠警告 この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。

⚠注意 この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
（左図の場合は『高温注意』という意味です。）

⃠の記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
⃠の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は『分解禁止』という意味です。）

●の記号は、しなければならない行為（強制行為）を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。）

重要事項：必ずお守りください

⚠警告	
	必ずアース（D種接地）工事を確認してください。 アース工事がされないと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。
	電圧は定格電圧の± 10％以内でお使いください。 火災の原因となります。
	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。
	絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけどやケガの原因となります。
	屋外に設置しないでください。 感電や故障の原因となります。
	リセット操作時およびメンテナンス時以外は前面カバーを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
	湿気の多い場所や浴室には設置しないでください。 水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障や感電のおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、自動水栓に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。

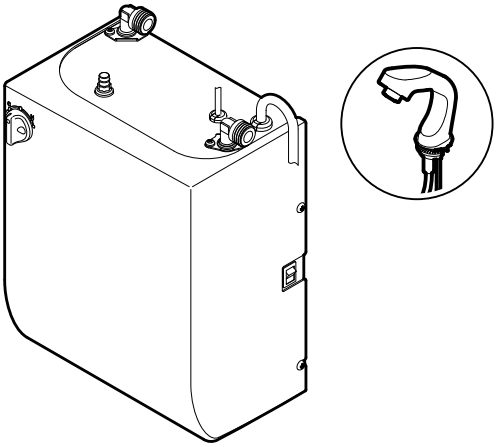
⚠注意	
⃠	**前面カバーはABS樹脂製ですので、強い衝撃などを与えないでください。** 破損の原因となります。
	温水器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
	水道水以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	自動水栓の吐水口に浄水器など抵抗となるものを取り付けないでください。 漏水、故障の原因となります。
	長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用にしないでください。 健康を害するおそれがあります。
❗	**温水器の満水質量に十分耐えられる強度を持った壁面に必ず垂直に設置してください。** 落下の原因となります。
	給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。 漏水の原因となります。
	配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。 漏水の原因となります。
	電気温水器へ配管接続する前に配管内のゴミ（切削粉、砂、シールテープ等）を除去するため、止水栓を開きバケツ２杯（約２０Ｌ）程度の水を捨ててください。 故障や漏水の原因となります。
	満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	床面に防水、排水処理を施してください。 漏水が起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。
	水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。 タンクや配管が破裂してやけどをするおそれがあります。
	長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 凍結してタンクが破損したり、水質が悪化するおそれがあります。

ESWM3について

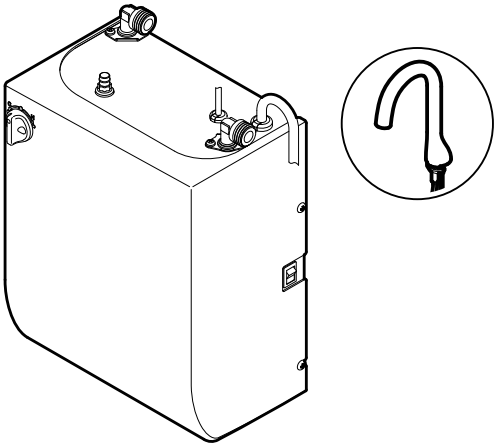
本機は約 75℃に沸かし上げたお湯を水と混合して約 37℃（工場出荷時）の安全な温度で出湯する元止式の壁掛型自動水栓付小型電気温水器です。

ラインナップ

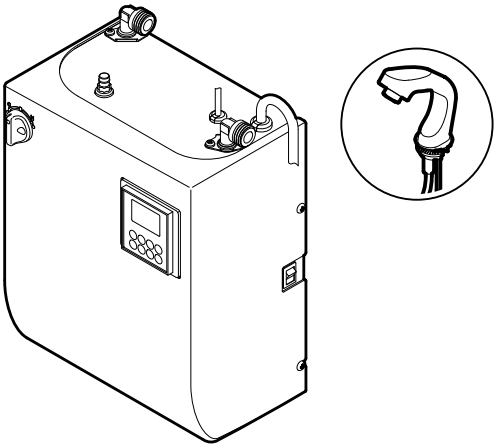
ESWM3ASS
シンプルな標準タイプの本体とスタンダードタイプの自動水栓セット。



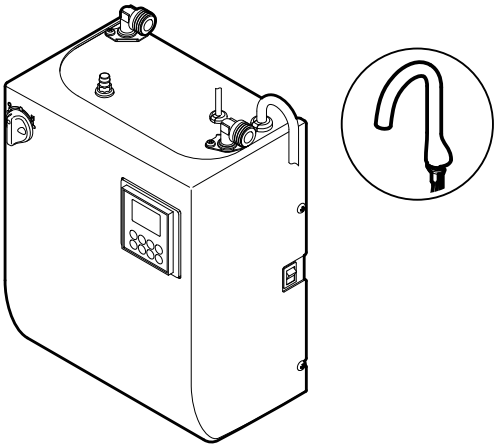
ESWM3ASG
シンプルな標準タイプの本体とグースネックタイプの自動水栓セット。



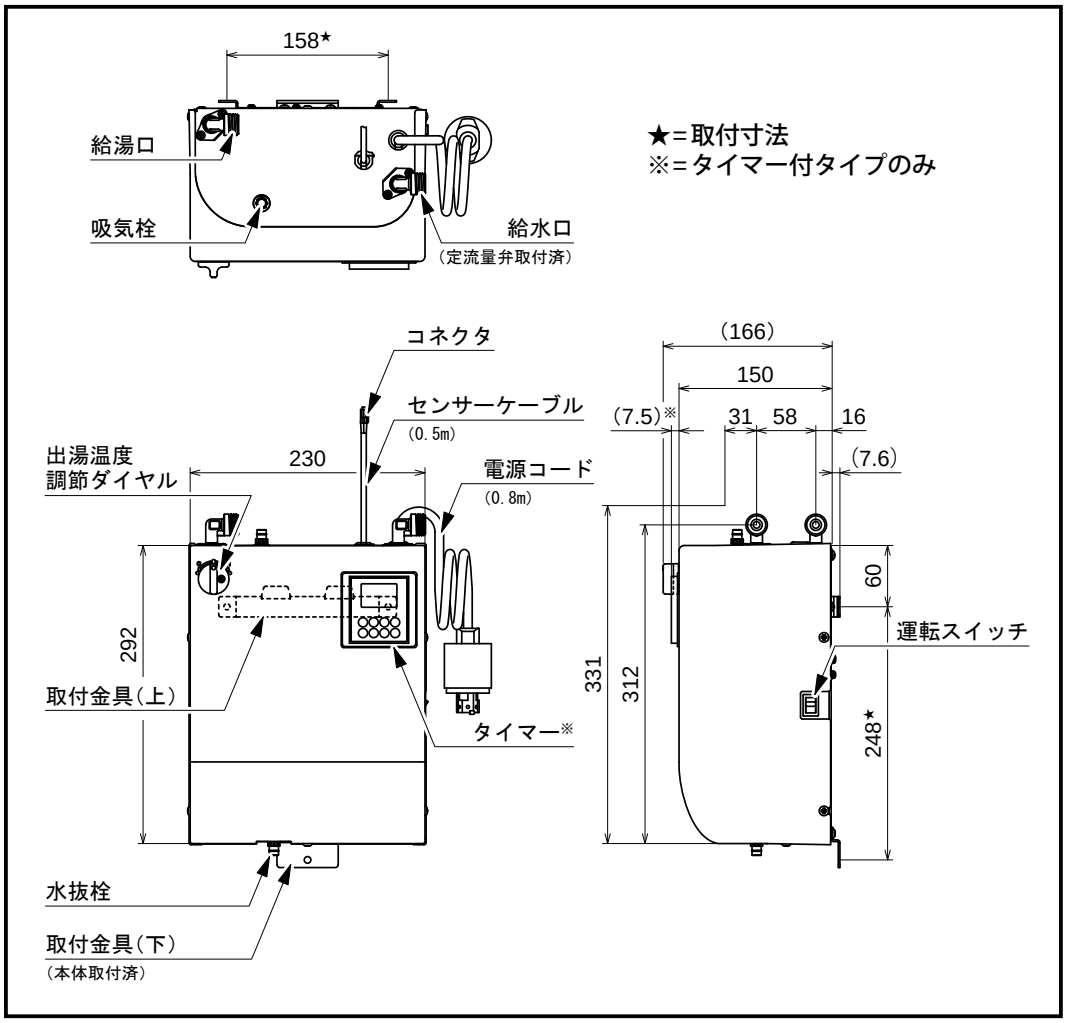
ESWM3TSS
便利なデジタルタイマー付きの本体とスタンダードタイプの自動水栓セット。



ESWM3TSG
便利なデジタルタイマー付きの本体とグースネックタイプの自動水栓セット。



各部名称および寸法図


158★
給湯口
吸気栓
給水口
（定流量弁取付済）
★=取付寸法
※=タイマー付タイプのみ
コネクタ
センサーケーブル
（0.5m）
出湯温度
調節ダイヤル
230
電源コード
（0.8m）
292
取付金具（上）
タイマー※
水抜栓
取付金具（下）
（本体取付済）
（166）
150
（7.5）※
31
58
16
（7.6）
60
運転スイッチ
331
312
248★

共通項目

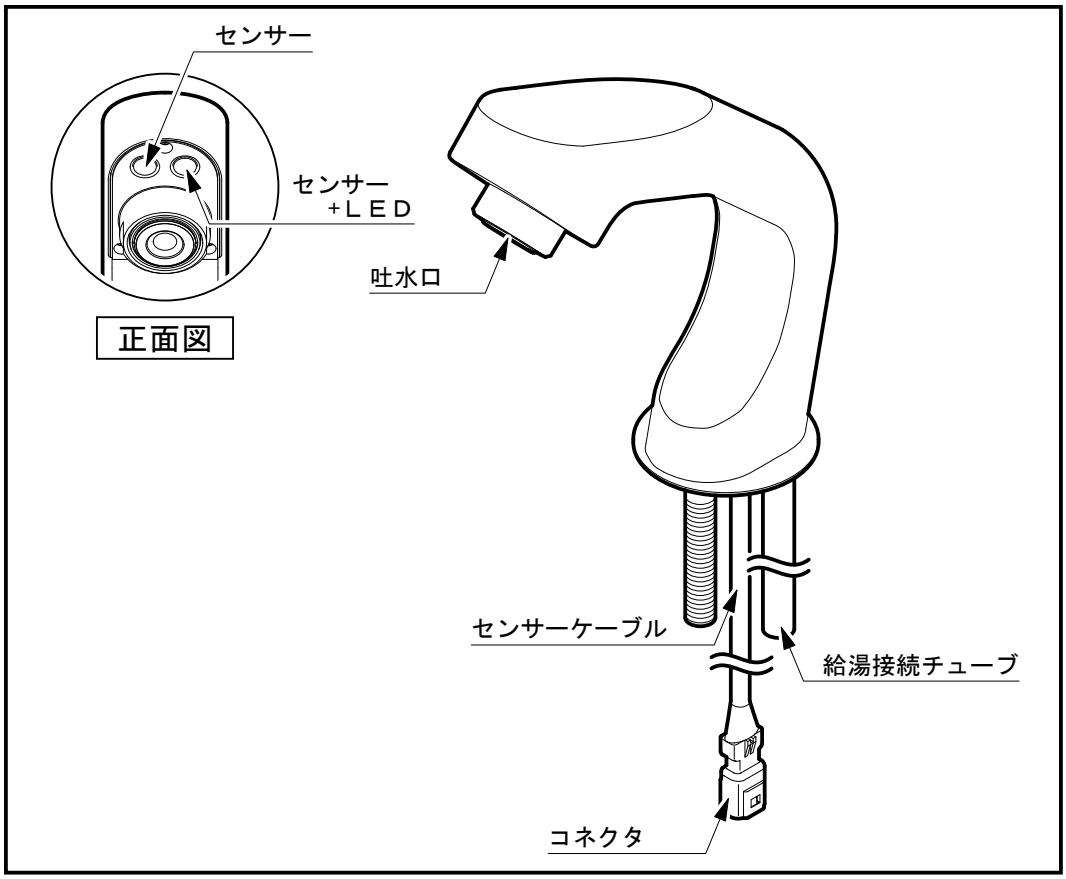
ESWM3について

仕様

型式		ESWM3	
型番		ESWM3AS□（タイマ無）	ESWM3TS□（タイマ有）
貯湯量		約 3L	
定格	電圧	単相 100/200V	
	周波数	50/60Hz	
	消費電力	0.6kW	
設定温度（沸かし上げ温度）		約 75℃	
出湯温度（工場出荷時）		37℃ ± 2℃（ただし出湯温度調節ダイヤルで調節可）※1※2	
出湯温度調節範囲（目安）		約 32℃～ 39℃※2	
外形寸法 D × W × H		（166）mm × 230mm × 292mm※3	
製品質量（満水質量）		約 3.2kg（約 5.7kg）	約 3.5kg（約 6.0kg）
使用条件	使用雰囲気温度	0 ～ 40℃（凍結しないこと）	
	一次側使用水温	30℃以下（凍結しないこと）	
	使用圧力	0.1~0.5MPa	
	使用水質	水道水（上水道）	
	設置場所	屋内	
主要部品	ヒーター	シーズヒーター	
	センサーケーブル	0.5m	
	電源コード	0.8m	
	電源プラグ	単相 100V	単相 200V
		差込型 / 接地 2P 125V/15A	引掛形 / 接地 2P 250V/20A
対応コンセント（パナソニック品番）		WK3001W WF3002EK	WF2520B/W WK2520B/W
安全装置		空焚き検出、過昇温検出	
接続口径	給水口	G1/2（おねじ）	
	給湯口	G1/2（おねじ）	
	水抜栓	適合ホース内径 9mm	

※ 1：お湯の出はじめに瞬間的に温度が高くなる場合があります。（約 43℃）
※ 2：沸き上がり温度：75℃、給水温度：15℃時、出湯流量：3L/min時
※ 3：（　）内寸法は出湯温度調節ダイヤルを含めた寸法です。（P.6『各部名称および寸法図』参照）

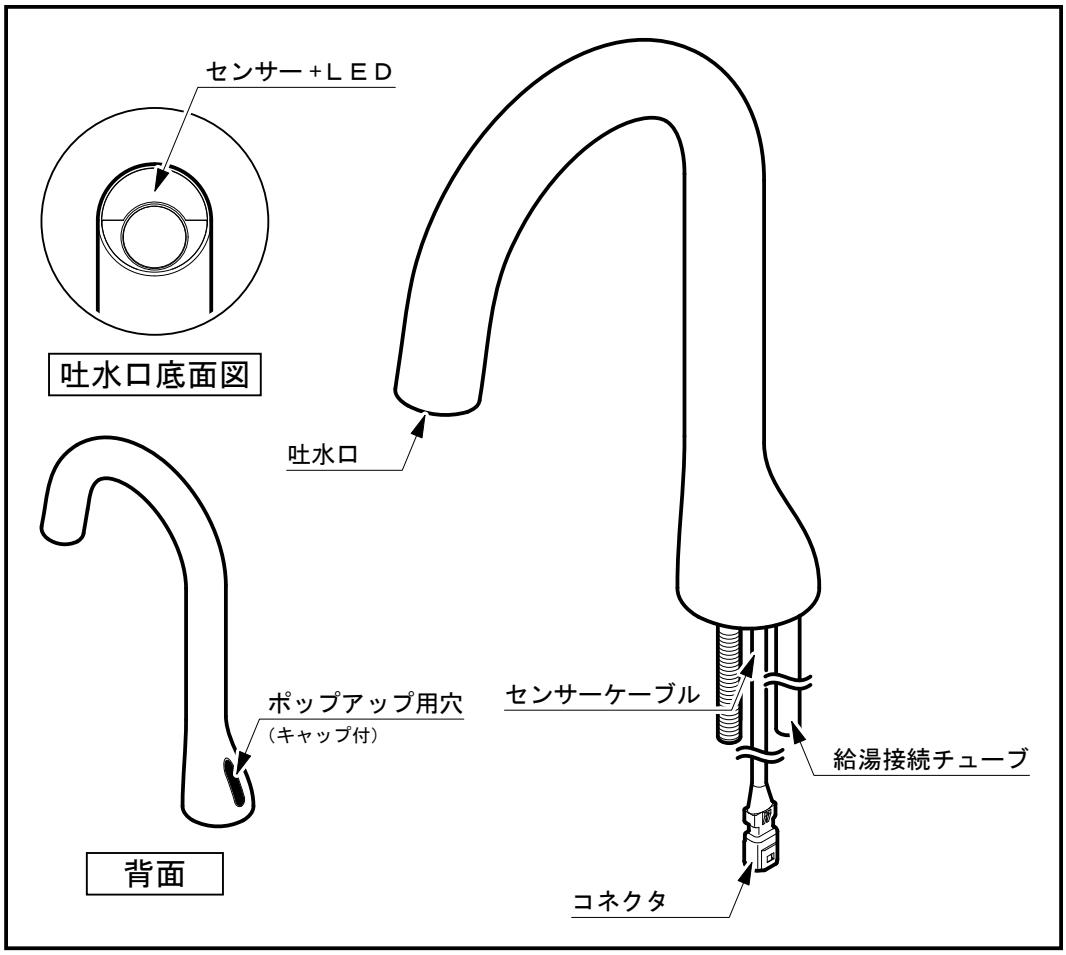
自動水栓について



型式	スタンダードタイプ
寸法	幅 33mm ×奥行 130mm ×高さ149.5mm
重量	約 600g
取付穴径	推奨値：φ28mm（許容範囲：φ24 ～φ35mm）
給湯接続チューブ長	約 900mm
センサーケーブル長	約 350mm
使用電源	AC100-200V（電気温水器より供給）
消費電力	動作時：7W以下　待機時：1W以下
連続出湯時間	1分間
出湯流量	約 2 ～ 4L/min※

※出湯流量は給水圧力により上記範囲内で変動します。4L/min以上の流量が出てしまう場合には止水栓側で調整を行ってください。

共通項目



型式	グースネックタイプ	
寸法	幅 50mm ×奥行 195mm ×高さ266mm	
重量	約 1kg	
取付穴径	ポップアップ無	推奨値：φ28mm（許容範囲：φ25 ～φ38mm）
	ポップアップ有	推奨値：φ35mm（許容範囲：φ30 ～φ38mm）
給湯接続チューブ長	約 900mm	
センサーケーブル長	約 350mm	
使用電源	AC100-200V（電気温水器より供給）	
消費電力	動作時：7W以下　待機時：1W以下	
連続出湯時間	1分間	
出湯流量	約 2 ～ 4L/min※	

※出湯流量は給水圧力により上記範囲内で変動します。4L/min 以上の流量が出てしまう場合には止水栓側で調整を行ってください。

工事要領

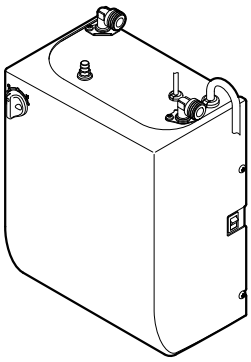
正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

施工前にご確認ください

1. 部品の確認

【製品に同梱されています】

本体



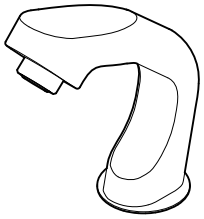
各型番の違いはP.5参照

付属品（型番により異なるもの）

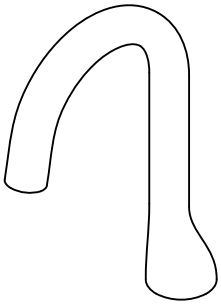
タイマー付タイプ

デジタルタイマー取扱説明書×１
（工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。）

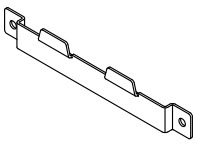
自動水栓スタンダードタイプ



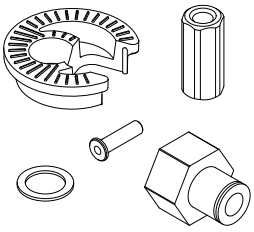
自動水栓グースネックタイプ



付属品（全型番共通）



取付金具（上）



自動水栓取付セット※
- ワンタッチチューブコネクタ×１
- パッキン×１
- 取付ナット×１
- 取付座×１
- インサートリング×１

工事要領・取扱説明書×１
（この冊子です。当冊子は工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。）

※図はスタンダードタイプのものです。

【お客様にてご手配ください】

お客様手配品（→ P.17『標準配管図』参照）

①漏電ブレーカ ・・・・・万一の故障や漏電した際の事故を防止します。(30mA、0.1秒)
②プラスチックアンカー ・・温水器を取り付ける際に必要です。(3本)
③木ねじ ・・・・・・・・・温水器を取り付ける際に必要です。(3本)
④ステンレスフレキ管・・・配管を取り外せるように施工するために必要です。
⑤止水栓 ・・・・・・・・・排水やメンテナンス時に給水を止めるため必要です。

2. 設置場所の確認

チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
凍結対策	冬季にも凍結しない場所ですか？ 冬季に凍結する場所の場合、保温工事が必要になります。	☐
メンテナンススペース	メンテナンスのために本体を取り外せるスペースは確保されていますか？ メンテナンススペースが取られていないと、修理や点検の際に製品を取り外すことができません。	☐
取付壁面	垂直な壁面ですか？ 垂直でない場合はお取り付けいただけません。	☐
	満水質量約 5.7kg（タイマー付タイプは約 6.0kg）に耐えられる壁面ですか？ 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	☐
コンセントの有無	電源コード（0.8m）が届く範囲にコンセントはありますか？ 無い場合は取り付けや増設が必要です。	☐
給水圧力	給水圧力は0.1 ～ 0.5MPaの範囲内ですか？ 温水器が正しく動作しませんので、必ず上記の範囲の給水圧力があることを確認してください。	☐
電圧	定格電圧の± 10％ 以内ですか？ 火災の原因となりますので、必ず上記範囲内の電圧であることを確認してください。	☐

ESWM3型の離隔距離

この温水器は「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物等からの離隔距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。

※必ずメンテナンススペースを確保してください。メンテナンススペースが取られていないと、修理や点検の際に製品を取り外すことが出来ません。

消防法 基準適合 組込形

場所	離隔距離（cm）
上方	0
左方	0
右方	0
前方	0
後方	0
下方	0

施工する

1. 設置工事

⚠警告	
	屋外に設置しないでください。 感電、故障の原因となります。
	リセット操作時およびメンテナンス時以外は前面カバーを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	湿気の多い場所や浴室には設置しないでください。 水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障、感電のおそれがあります。

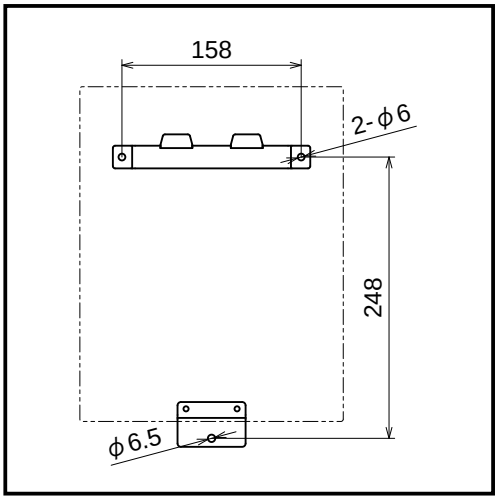
⚠注意	
	前面カバーはABS樹脂製ですので、強い衝撃などを与えないでください。 破損の原因となります。
	自動水栓の吐水口に浄水器など抵抗となるものを取り付けないでください。 漏水、故障の原因となります。
	温水器の満水質量に十分耐えられる強度を持った壁面に必ず垂直に設置してください。 落下の原因となります。
	床面に防水、排水処理を施してください。 漏水が起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。

電気温水器の設置

①温水器を取り付ける位置を決定し、取付木ねじ位置に印をつけます。

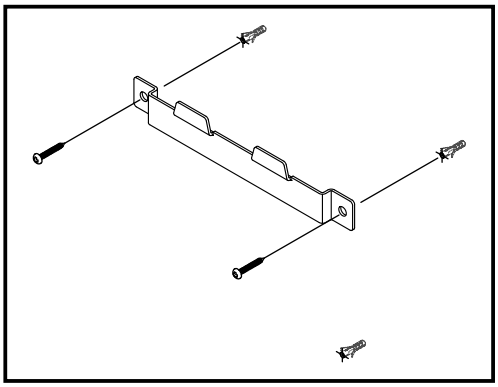
②印をつけた位置3ケ所に下穴を開け、プラスチックアンカー※（お客様手配品）を打ち込みます。

※推奨プラスチックアンカー
…フォーエース 4A-628K（日本ドライブイット製）

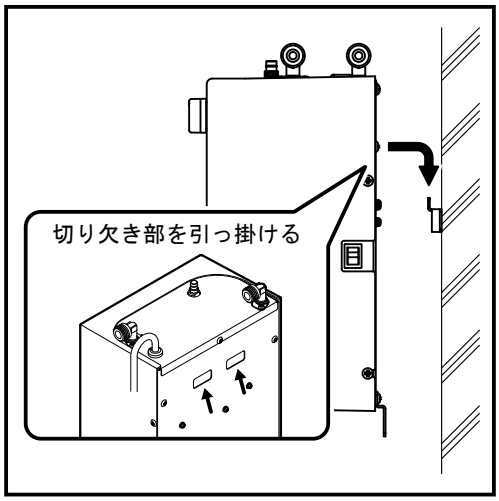


③上側2ケ所に打ち込んだプラスチックアンカーに木ねじ※（お客様手配品）で取付金具（上）を取り付けます。

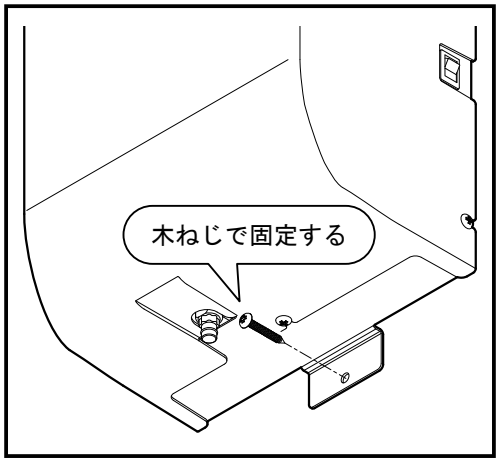
※推奨木ねじサイズ…φ3.8×32



④温水器背面の切り欠き部に取付金具（上）を挿しこみ、温水器を引っ掛けます。



⑤取付金具(下)を木ねじ（お客様手配品)で固定します。

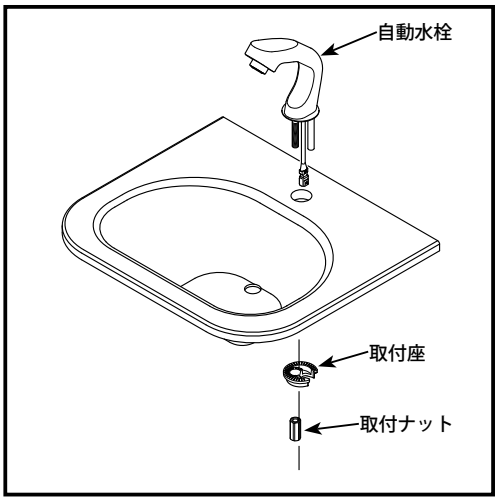


自動水栓の設置

①自動水栓の設置場所に取付穴を開けてください。（推奨穴径：φ28mm。グースネックタイプでポップアップを使用する場合はφ35mm）

②取付穴にセンサーケーブル、給湯接続チューブを通します。

③取付座の切り欠き部分にセンサーケーブル、給湯接続チューブを通し、ソケットレンチ等を使用し取付ナットを締め込みます。



※取付座の切り欠き部を通過させずに固定した場合、ケーブル破損や漏水などの不具合につながるおそれがありますのでご注意ください。

※上図はスタンダードタイプのものですがグースネックタイプでも手順は同様です。

ワンポイント P

・自動水栓センサーの感知が正常に行われないおそれがあるため、ステンレスボウル等反射の強いボウルでのご使用はできません。

・作動不良の原因となるため、自動水栓のセンサー面に直接または反射の良い洗面などにより間接的に日光が射し込む環境でのご使用はできません。

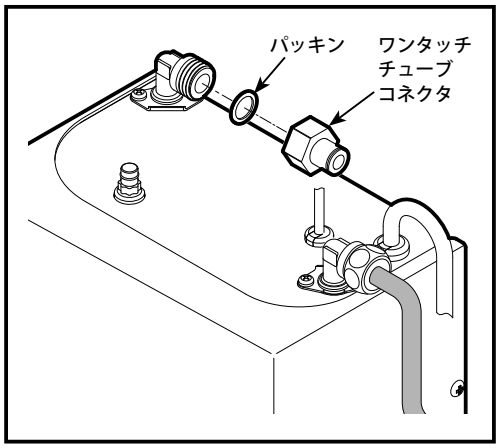
2. 配管工事

⚠注意	
❗	**給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。** 漏水の原因となります。
	配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。 漏水の原因となります。
	電気温水器へ配管接続する前に配管内のゴミ（切削粉、砂、シールテープ等）を除去するため、止水栓を開きバケツ２杯（約２０Ｌ）程度の水を捨ててください。 故障や漏水の原因となります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。
	水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。 タンクや配管が破損してやけどをするおそれがあります。

①給水一次側にお客様手配品の止水栓を取り付けてください。

②給水接続口についているキャップを取り外して給水配管を行ってください。

③給湯接続口についているキャップを取り外してワンタッチチューブコネクタ（付属品）を取り付けてください。

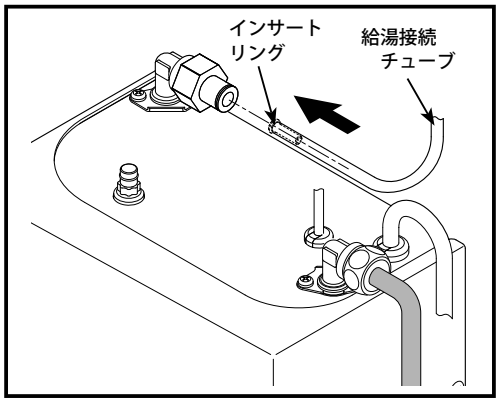


④自動水栓の給湯接続チューブにインサートリングを取り付け、ワンタッチチューブコネクタに挿し込んでください。

※給湯接続チューブの挿し込みやインサートリングの取付けが不十分な場合、漏水のおそれがあります。

※漏水のおそれがあるため給湯接続チューブは切断しないでください。

※吐水不良が起こる原因となるため給湯接続チューブは折れ曲がらないように施工してください。（ホースを束ねる場合は曲げ半径を30mm以上にしてください）



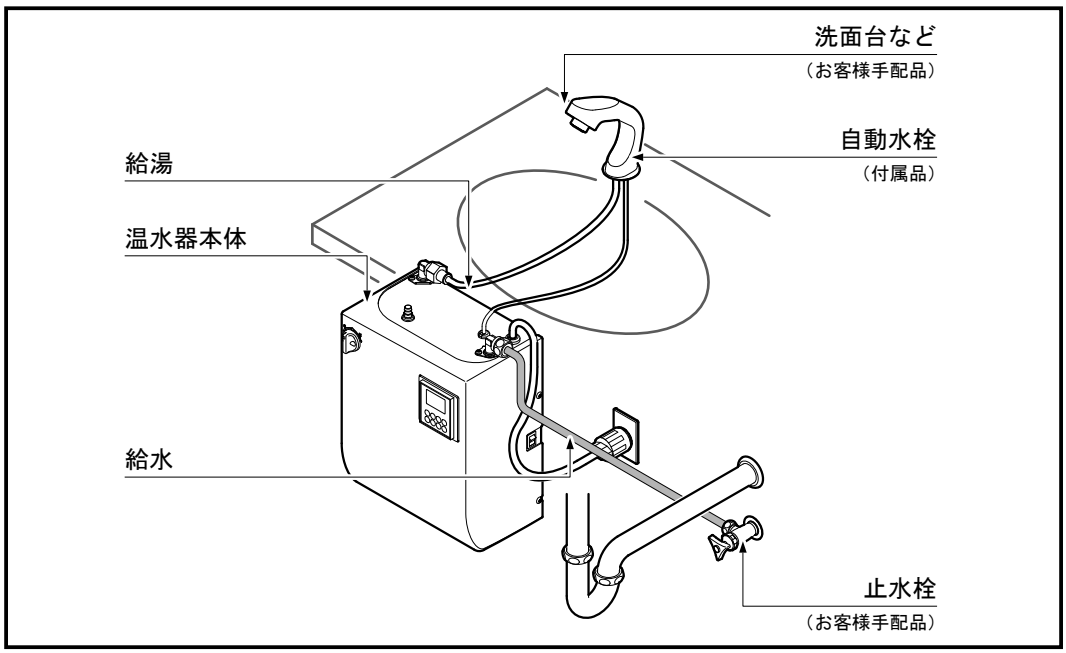
ワンポイント P

・給水接続配管にはステンレスフレキ管（お客様手配品）を使用して、メンテナンスや修理の際に温水器を取り外せるようにしてください。

・給湯接続チューブを挿し込んだ後に軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。

・給湯接続チューブを取り外す際は、P.38『給湯接続チューブの取り外し方法』を参照してください。

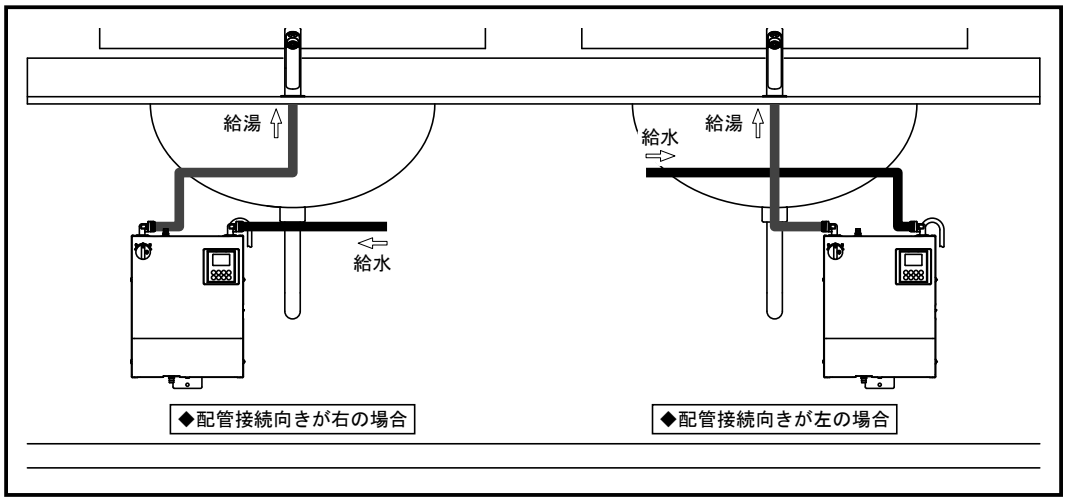
標準配管図



※図の自動水栓はスタンダードタイプですがグースネックタイプでも同様です。

配管接続向きについて

ESWM3の配管接続口（給水口・給湯口）は左右に回転可能です。
設置状況に応じて配管接続向きを変更してください。



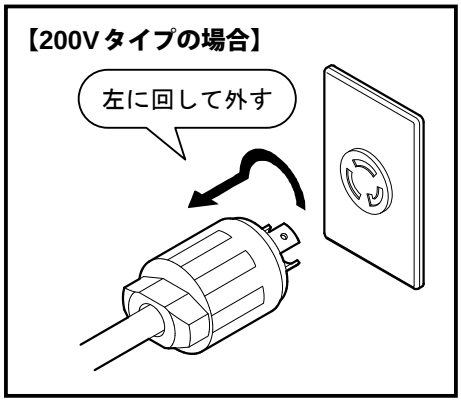
3. 電気工事

⚠警告	
	必ずアース（D種接地）工事を確認してください。 アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。
	電圧は定格電圧の± 10％以内でお使いください。 火災の原因となります。
	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。
	絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけどやケガの原因となります。
	設置時以外は前面カバーを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。

⚠注意	
	前面カバーは ABS 樹脂製ですので、強い衝撃などを与えないでください。 破損の原因となります。

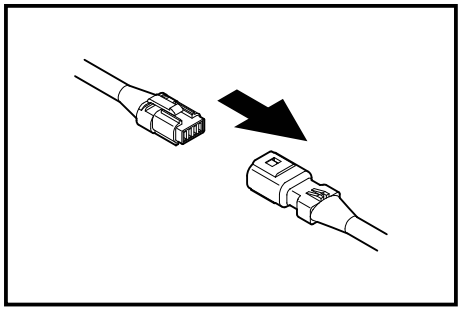
自動水栓の電源接続方法

①電源プラグがコンセントから外れていることを確認してください。
外れていない場合は、電源プラグをコンセントから外してください。

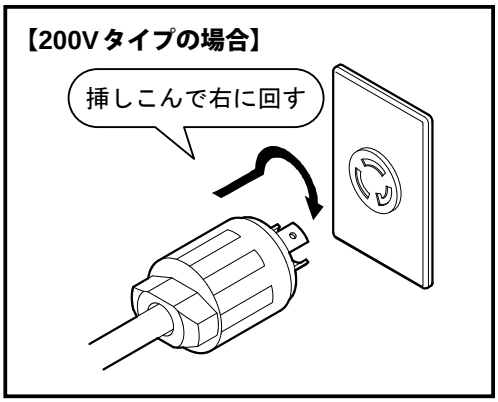


②温水器側、自動水栓側それぞれのセンサーケーブル先端にあるコネクタをしっかりと接続してください。

※濡れた手でコネクタに触れると故障の原因となりますので、ご注意ください。



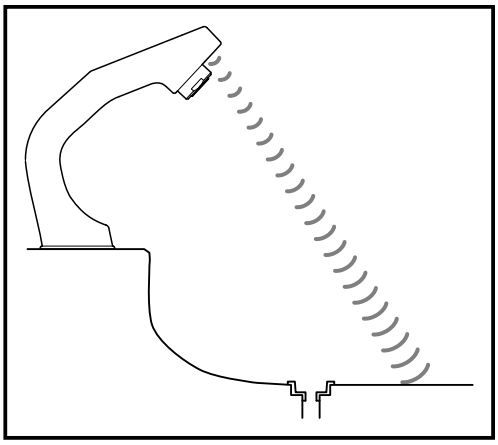
③電源プラグをコンセントに挿し込んでください。



④電源を投入すると自動水栓が自動的に感知距離調整を行います。完了後はLEDが2回点滅します。

※調整に失敗するとLEDが繰り返し点滅し続けます。センサー面の汚れや障害物の有無などを確認してください。

汚れや障害物を取り除くと再度自動的に感知距離調整を行います。



4. 施工後の確認

チェックリスト

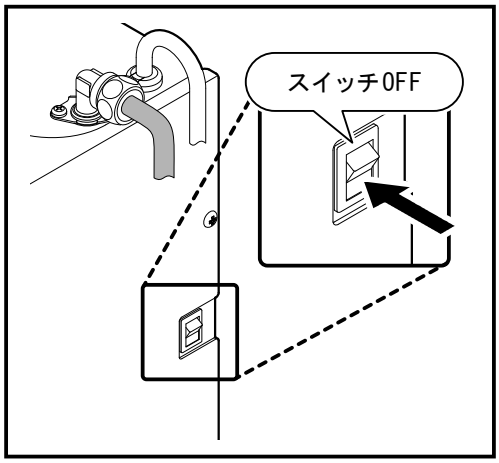
項　目	チェック内容	チェック
設置工事	温水器にがたつきはありませんか？	☐
配管工事	各配管、継手に漏水はないですか？	☐
	給水管の接続部分にゆるみはありませんか？	☐
電気工事	漏電ブレーカは正しく作動しますか？	☐
	D種接地工事は正しく行われていますか？	☐

試運転を行う

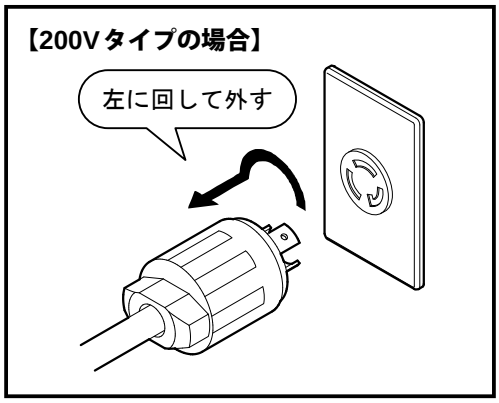
⚠注意	
⃠	**水道水以外は使用しないでください。** 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
❗	**満水にしてから通電してください。** 故障の原因となります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。

1. 温水器に給水する

①運転スイッチがOFFになっていることを確認してください。

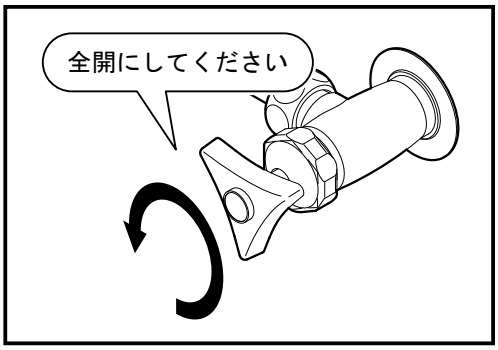


②電源プラグがコンセントから外れていることを確認してください。
外れていない場合は、電源プラグをコンセントから外してください。

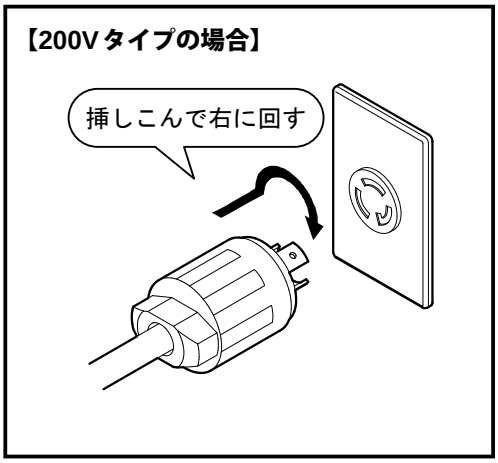


試運転を行う

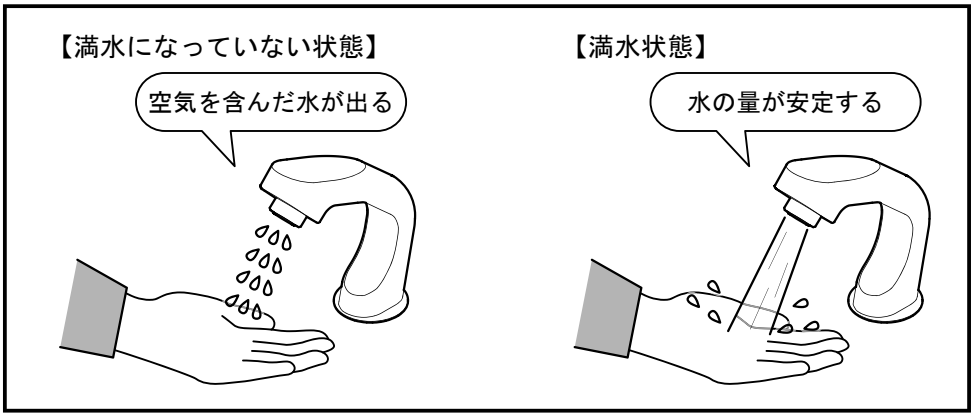
③止水栓を全開にしてください。



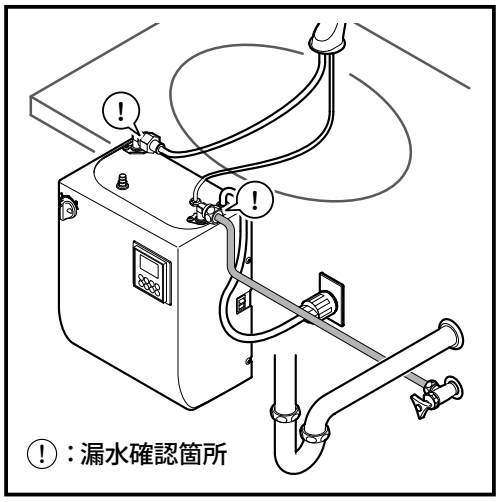
④電源プラグをコンセントに挿し込んでください。



⑤水の量が安定するまで自動水栓から出水してください。
（温水器のタンクが満水になるまでは空気を含んだ水が出ます。）

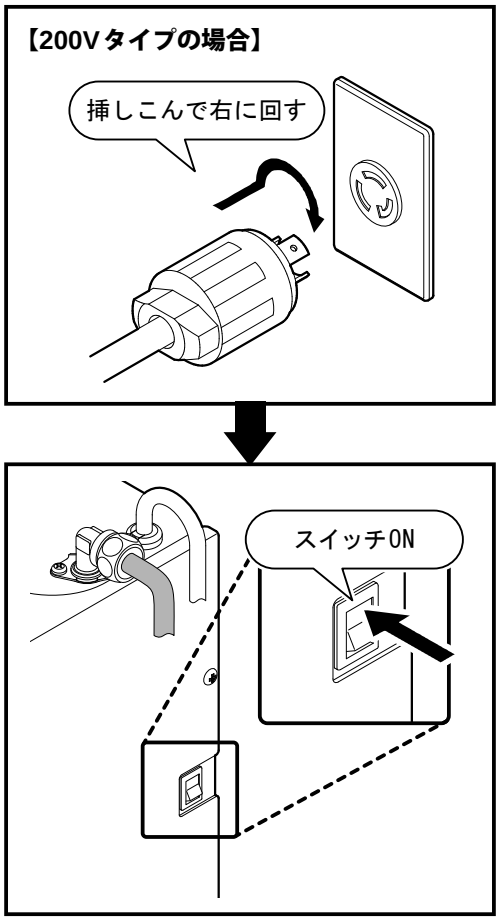


⑥温水器本体や配管部からの漏水がないか確認してください。



2. 試運転を行う

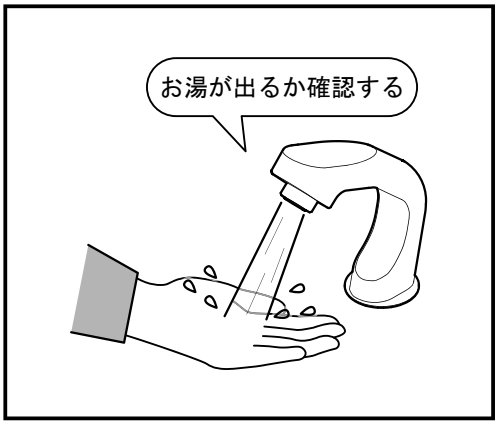
①電源プラグをコンセントに挿しこみ、温水器右側面にある運転スイッチをONにしてください。



②しばらくした後※に水栓からお湯が出ることを確認してください。

※運転スイッチをONにしてから沸かし上がるまでは多少時間がかかります。(P.23『沸き上がり時間の目安』参照)

※自動水栓は手を差し出している状態でも、1分間お湯を出し続けると、節水機能により自動的にお湯が止まります。
続けてお湯を出したい場合には、一度手を離してから再度手を差し出す動作を、必要に応じて繰り返してください。



ワンポイント P
・流量が多いと感じた場合には、止水栓にて給水量の調節を行ってください。
・流量が少ないと感じた場合には、P.38『定流量弁の取り外し方法』を参照し、給水口に取り付けられた定流量弁を取り外してください。

沸き上がり時間の目安

定格電圧	貯湯量(リットル)	標準ヒーター容量(kW)	沸き上がり時間※1 給水温 5℃	15℃	25℃	使用範囲の目安(人)※2
単相 100V	約 3	0.6	22分	19分	16分	約 14
単相 200V						

※1:沸き上がり時間の算出:沸き上がり温度 75℃の場合。
※2:使用範囲の目安:1人当たり0.5リットル、37℃にて算出。(給水15℃、沸き上がり温度 75℃)

3. 試運転後の確認

チェックリスト

項　目	チェック内容	チェック
漏　水	各配管、継手に漏水はないですか？	□
ヒーター絶縁抵抗	1MΩ以上ありますか？	□
ストレーナー	ストレーナーの中にゴミ詰まりはないですか？	□
給　湯	給湯栓を開くとお湯が出ますか？	□

取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用方法

⚠警告	
	リセット操作時およびメンテナンス時以外は前面カバーを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火の原因となります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠注意	
	前面カバーはABS樹脂製ですので、強い衝撃などを与えないでください。 破損の原因となります。
	温水器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
	水道水以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	自動水栓の吐水口に浄水器など抵抗となるものを取り付けないでください。 漏水、故障の原因となります。
	長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用にしないでください。 健康を害するおそれがあります。
	満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。
	長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 凍結してタンクが破損したり、水質が悪化するおそれがあります。

1. 使用前の準備と確認

ご使用の前に次の事をご確認ください。

チェックリスト

項　目	チェック内容	チェック
本体まわり	近くにガス類や引火物がないですか？	☐
	本体の上には物などを載せていませんか？	☐

2. 運転する

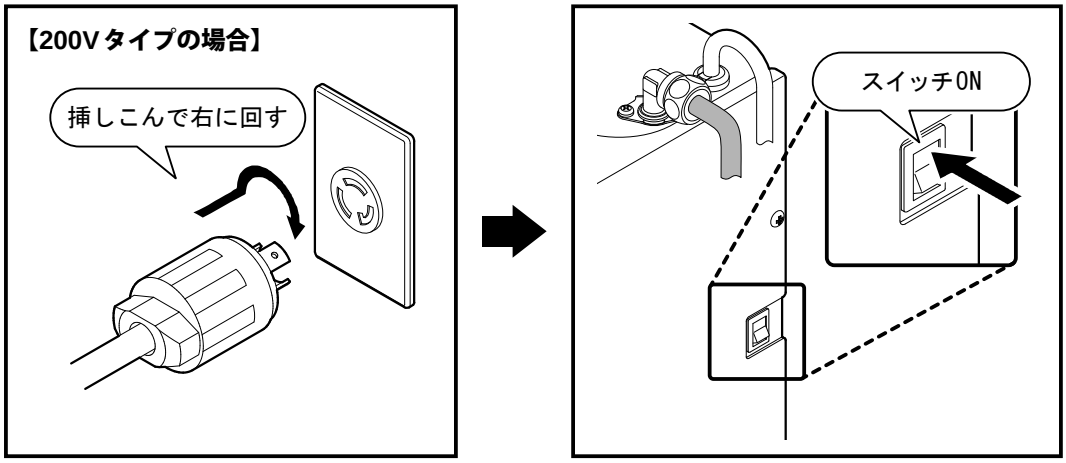
⚠警告	
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠注意	
	温水器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
	水道水以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。

① P.20『温水器に給水する』を参照し、温水器に給水してください。

②電源プラグをコンセントに挿しこみ、温水器右側面にある運転スイッチをONにしてください。

タイマー付のESWM3TS□をお使いの場合は、運転スイッチをONにすると工場設定の自動運転【おすすめプログラム】（下記「タイマー運転について」参照）で運転を始めます。



タイマー運転について（ESWM3TS□のみ）

ESWM3TS□は、組み込まれたデジタルタイマーに汎用的な運転設定「おすすめプログラム」が工場出荷時にインプットされています。運転開始時は、この「おすすめプログラム」で設定されたスケジュールに沿って運転を開始します。（機能と操作方法については、付属の「デジタルタイマー取扱説明書」をご参照ください。）

おすすめプログラム運転設定	
運転曜日	月～金曜日
運転時間	6:30 ～ 18:30

3. 出湯温度の変更方法

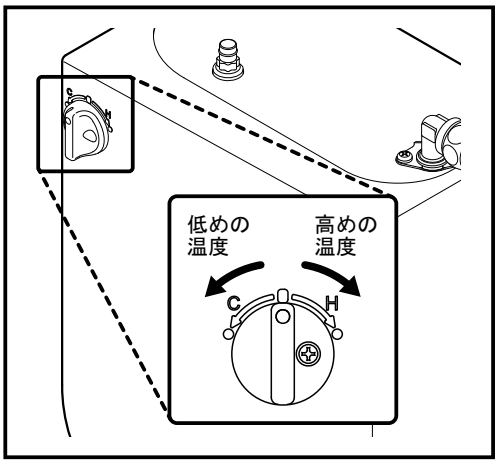
出湯温度は、本体前面にある出湯温度調節ダイヤルを操作することで一定の範囲内での調節が可能です。

調節範囲の目安は下記目安を参照してください。

【出湯温度調節範囲内の目安】

32℃ ± 2℃（下限）～ 39℃ ± 2℃（上限）

※沸き上がり温度：75℃、給水温度：15℃時
出湯流量：3L/min時
※給水温度やタンク内の温度、出湯流量によって出湯温度は変動します。



4. 出湯する

⚠警告

給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分に直接触れないでください。
やけどのおそれがあります。

⚠注意

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用にしないでください。
健康を害するおそれがあります。

満水にしてから通電してください。
故障の原因となります。

飲用する場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。
健康を害するおそれがあります。

自動水栓は水栓の下に手を差し出すだけでセンサーが感知し、お湯が出ます。

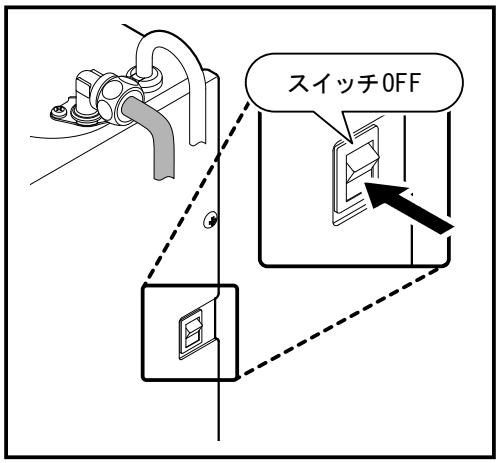
手を離すと約１秒後に自動的に止まります。手を差し出している状態でも、１分間お湯を出し続けると、節水機能により自動的にお湯が止まります。

続けてお湯を出したい場合には、一度手を離してから再度手を差し出す動作を、必要に応じて繰り返してください。

5. 出水する（自動水栓を使用する場合のみ）

夏場などお湯を必要としない場合は、運転スイッチをOFFにしてください。

スイッチをOFFにした直後は、タンク内にお湯が残っているためお湯が出ますが、時間がたつと水に変わります。



長期間使用しないときは(排水の方法)

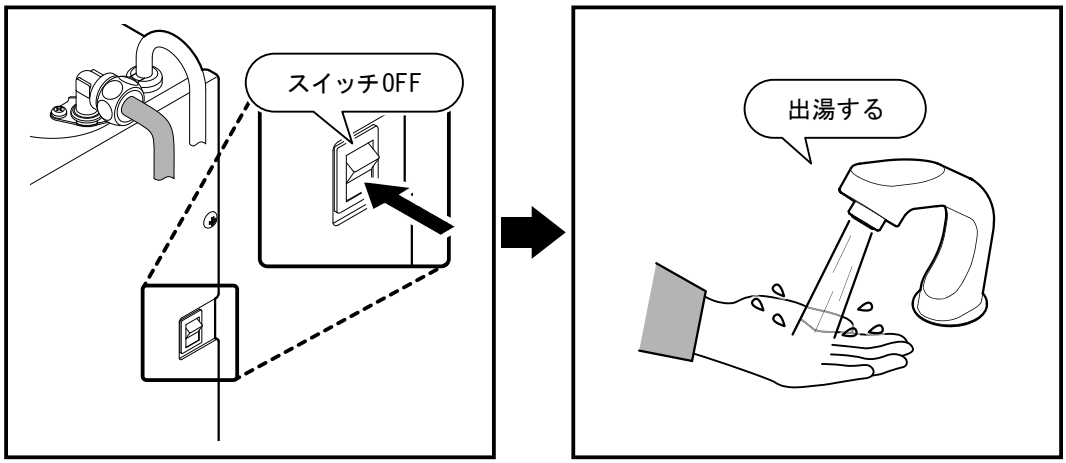
⚠警告	
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠注意	
	前面カバーはABS樹脂製ですので、強い衝撃などを与えないでください。 破損の原因となります。
	長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 凍結してタンクが破損したり、水質が悪化するおそれがあります。

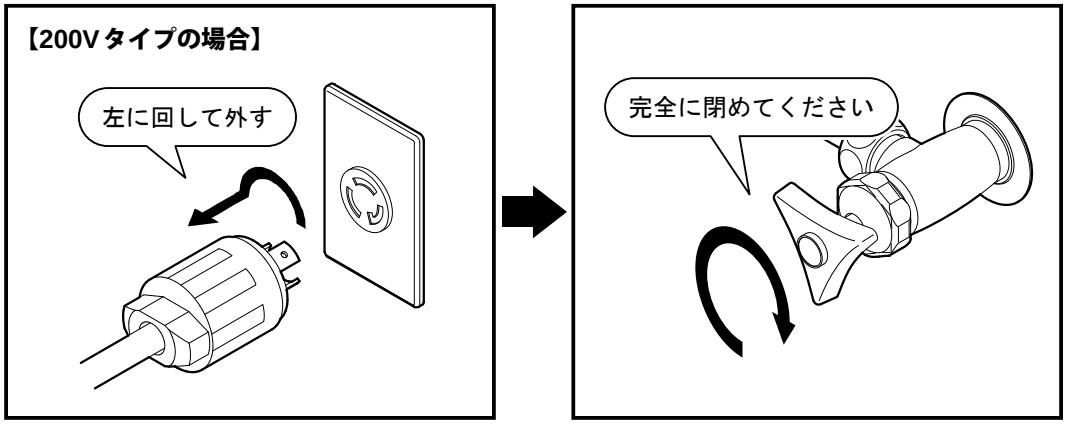
長期間、温水器および水栓をご使用にならない場合には水質劣化を防ぐため、下記の手順に沿ってタンク内のお湯を抜いてください。

排水の準備

①運転スイッチをOFFにして、水になるまで水栓から出湯します。



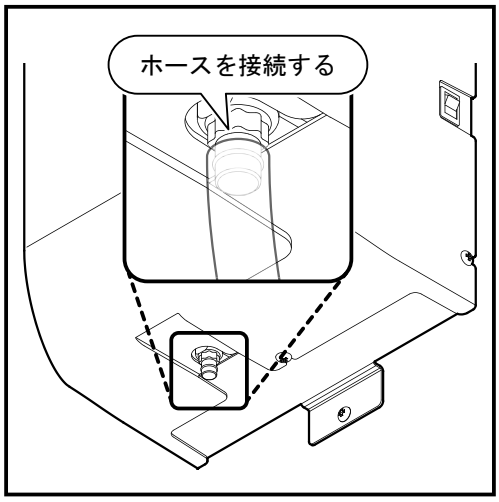
②水栓からのお湯が水になったら、電源プラグをコンセントから外し、止水栓を完全に閉めます。



排水を行う

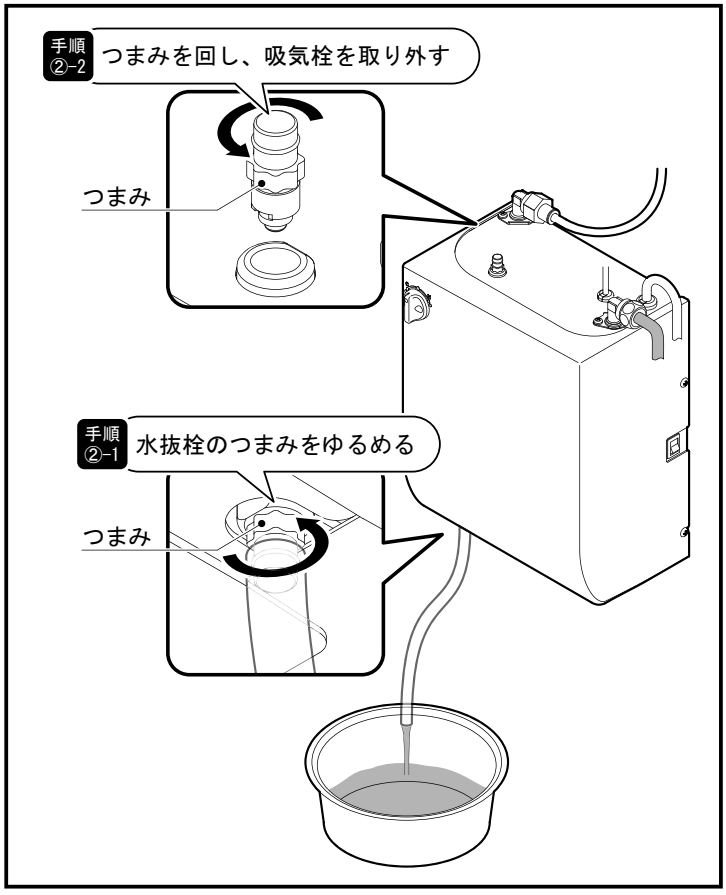
排水を行う前に必ずP.29「排水の準備」を行ってください。

①本体下部の水抜口にホース（お客様手配品：適合ホース内径 9mm）を奥までしっかりと差し込みます。



②水抜栓のつまみをゆるめて※から、吸気栓を取り外してください。排水が開始されます。（排水の際は容器から水があふれないようご注意ください。）
※水抜栓は回しすぎると外れてしまいますのでご注意ください。

③排水が終了したら水抜栓を閉め、吸気栓を取り付けてください。



※上記の方法で水が抜けにくい場合は、弊社フロント課までお問い合わせください。

お手入れの方法

⚠警告	
	リセット操作時およびメンテナンス時以外は前面カバーを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠注意	
	長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 凍結してタンクが破損したり、水質が悪化するおそれがあります。

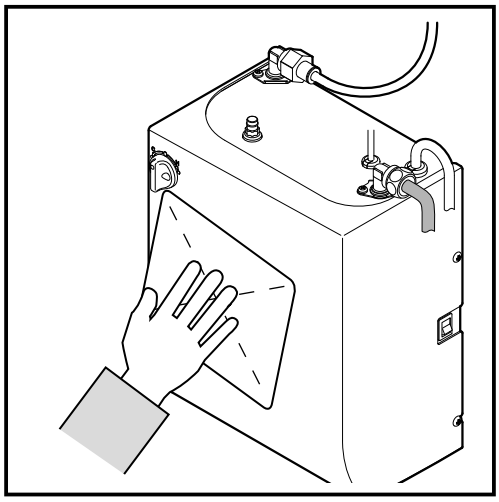
保守点検項目と実施の目安

点検項目	点検内容	点検の目安
管理技術者の方のみ **電圧の測定**	定格電圧の± 10％の範囲で使用されていることを確認してください。過電圧はヒーター断線の原因になります。また、低電圧の場合は能力が低下します。	1回／月
管理技術者の方のみ **電流値の測定**	定格電流の± 10％の範囲で使用されていることを確認してください。使用開始時と再使用時には特にご注意ください。	
管理技術者の方のみ **ヒーター絶縁抵抗測定**	絶縁抵抗計（500Vメガー）にて測定、1MΩ以上あることを確認してください。 ※**破損するので操作回路には絶縁抵抗測定をしないでください。**	
コードおよびプラグの点検	コードが熱を持っていないこと、損傷および劣化していないこと、プラグの締め付け部にゆるみなどの異常がないことを確認してください。トラッキング現象による火災防止のために一次側ブレーカをOFFにし、コンセント周囲やプラグを乾いた布等で清掃してください。	
吐水温度の点検	出湯温度調節ダイヤルを長時間回さずに機器の使用を続けると機能部に水アカなどが付着し、温度調節機能が損なわれる場合があります。 4～5回程度左右に回し、固着などがないことを確認してください。	
漏水全般についての点検	本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。	1回／日
タンク内部の清掃	自動水栓から出湯して、タンク内の水を強制的に入れ替えてください。	1回／年

注）長期間ご使用にならない場合は凍結によるタンクの破損や水質変化防止のため、P.29『長期間使用しないときは（排水の方法）』をご参照の上、タンク内の湯を排水してください。

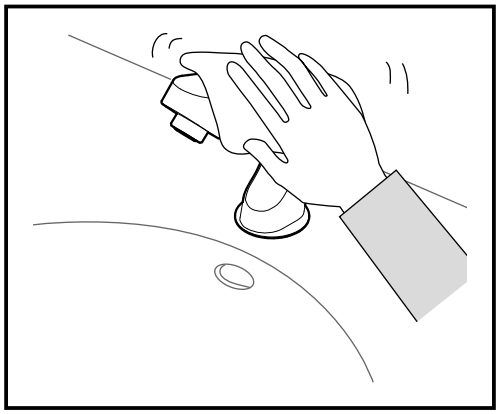
温水器のお手入れ

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。



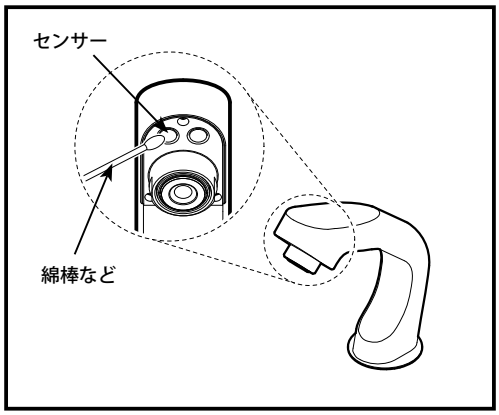
自動水栓のお手入れ

【本体のお手入れ】
水に浸して固く絞った布で拭いてください。汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。



【センサー部のお手入れ】
水に浸した綿棒などで汚れを拭きとってください。汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸した綿棒などで汚れを拭きとった後、水拭きしてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。

清掃時はセンサー面を傷つけないようご注意ください。



こんなときは

温水器が正しく運転しない場合や不調な際の修理ご依頼の前にご確認ください。
ここに記載されている対処を行っても症状が改善されない場合は、故障状況シートをFAXいただくか、弊社フロント課または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。
タイマーの操作方法は、付属の「デジタルタイマー取扱説明書」をご参照ください。

状　況	ご確認ください	対処方法
湯が沸かない 湯にならない	一次側のブレーカがOFFになっていませんか？	漏電ブレーカをONにしてください。
	プラグは確実にコンセントに挿しこんでありますか？	確実に挿しこんである場合でも、結線部が断線していることもありますので、点検してください。
	運転スイッチまたはタイマーの設定がOFFになっていませんか？	運転スイッチがOFFの場合はONにしてください。タイマーは設定を変えてみて、通電すればセットし直してください。設定方法は付属の「デジタルタイマー取扱説明書」をご参照ください。
	過昇温検出装置が作動していませんか？	本機には「空焚き検出」および「過昇温検出」（サーモスタットのトラブル時などに発生するオーバーヒート防止）兼用装置が装備されています。復帰するには原因を取り除いたうえで、管理技術者の方にご依頼ください。（P.36『リセットの方法』参照）
	電圧が誤っていませんか？	100 Vの温水器を200 Vで使用するとヒーターが断線します。200 Vの温水器を100 Vで使用することはできません。
	ヒーターの故障ではありませんか？	ヒーターの導通を測ってください。故障の場合は、弊社フロント課または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。
湯温が低いまたは沸き上がり時間が長すぎる	湯を使用した直後ではありませんか？	瞬間式ではありませんので沸き上がるまで時間がかかります。
	給水温度が低くありませんか？	秋から冬にかけて水温が急激に下がります。従って沸き上がり時間もかかります。
	出湯温度調節ダイヤルの設定がC（低い）になっていませんか？	P.27『出湯温度の変更方法』を参照し、希望の温度になるよう設定してください。
湯量が少ない 湯も水も出ない	断水ではありませんか？	断水が終わるまでお待ちください。
	給水量が不足していませんか？	止水栓が閉じている場合は開けてください。 ストレーナーに詰まりがある場合は管理技術者の方に依頼し、清掃してください。 上記の対処でも改善しない場合は、P.38『定流量弁の取り外し方法』をご参照の上、給水口に取り付けられた定流量弁を取り外してください。
	止水栓が閉まっていませんか？	閉まっていたら開けてください。
	自動水栓のセンサーが汚れていませんか？	P.32『自動水栓のお手入れ』をご参照の上、センサー部を清掃してください。
湯（水）が止まらない	自動水栓のセンサーが汚れていませんか？	P.32『自動水栓のお手入れ』をご参照の上、センサー部を清掃してください。

状　況	ご確認ください	対処方法
湯（水）がすぐに止まる	自動水栓のセンサーが汚れていませんか？	P.32『自動水栓のお手入れ』をご参照の上、センサー部を清掃してください。
	自動水栓の吐水開始から60秒経過していませんか？	自動水栓は60秒経過すると自動で吐水を停止します。再度手をかざし直してください。
非常に熱い湯が出る	熱いお湯が連続して出続けていますか？	自動混合弁が故障している可能性がありますので、弊社フロント課または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。
瞬間的にお湯の温度が高くなるまたは低くなる	その後のお湯の温度は一定になっていますか？	製品の構造上、お湯をしばらく使っていなかった後の出湯は一時的に設定よりも高い温度（約43℃）が出る場合がありますが故障ではありません。
自動水栓の吐水口からポタポタと滴下している	沸かし上げ中ですか？	本製品は元止式のため、沸かし上げ中は吐水口からポタポタと滴下しますが異常ではありません。 沸かし上げが終了すると滴下は止まります。
湯が臭い 湯が汚れている	設置直後ではありませんか？	設置直後などは工事の際の切削油等が流入することがありますので、水をしばらく出し続けてください。
	長期間の休止後ではないですか？または断水直後ではないですか？	休止後は水の汚れや配管内の錆が出ることがあります。水栓から水を出し続けてタンク内の水を入れ替えてください。
漏水している	本体からですか？	ただちに使用を中止（運転スイッチをOFFに）して止水栓を閉め、電源プラグを抜いた後、弊社フロント課または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。
	配管接続部からですか？	各配管接続部を締め直してください。 膨張水の処理配管接続部も点検してください。
給水時に温水器本体や配管が振動音を発する	給水管に30cm以上フレキ管を使用しているか、配管支持がされていないのではありませんか？	配管を固定していないと水圧の変動「ウォーターハンマー」の影響が直接出ることがありますので、固定してください。フレキ管の場合は給水抵抗を少なくするよう、Rを大きくするなど曲げ方を工夫してください。
自動水栓のLEDが点滅し続けている	センサー部が汚れていませんか？	自動水栓の感知距離調整が失敗しています。 P.32『自動水栓のお手入れ』をご参照の上、センサー部を清掃してください。
	自動水栓のセンサー付近に障害物などがありませんか？	自動水栓の感知距離調整が失敗しています。 障害物などを取り除いてください。

前面カバーの取り外し方法

管理技術者の方のみ

⚠警告

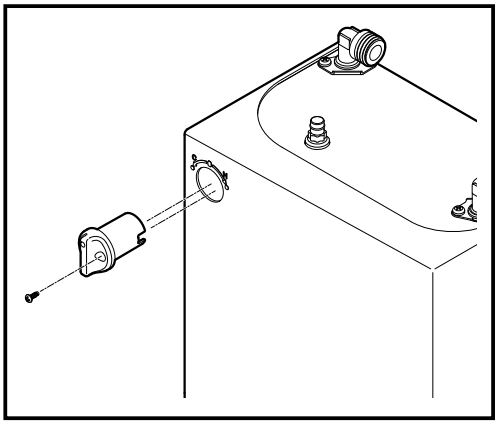
リセット操作時およびメンテナンス時以外は前面カバーを開けないでください。
感電、やけどのおそれがあります。

給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分に直接触れないでください。
やけどのおそれがあります。

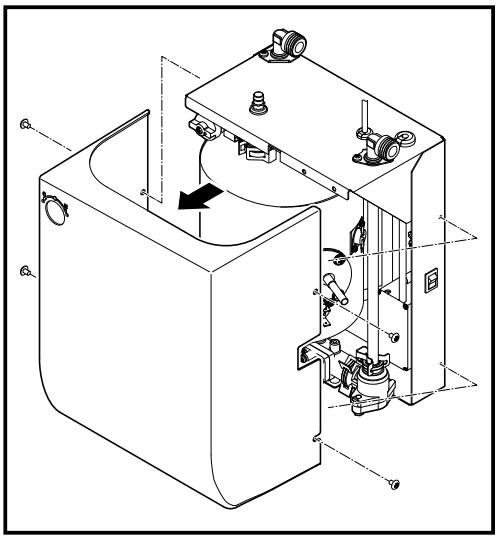
⚠注意

前面カバーはABS樹脂製ですので、強い衝撃などを与えないでください。
破損の原因となります。

①出湯温度調節ダイヤル固定ねじを外し、出湯温度調節ダイヤルを取り外します。



②側面 4 ヶ所のねじを外し、前面カバーを取り外します。



リセットの方法

管理技術者の方のみ

⚠警告

リセット操作時およびメンテナンス時以外は前面カバーを開けないでください。
感電、やけどのおそれがあります。

給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分に直接触れないでください。
やけどのおそれがあります。

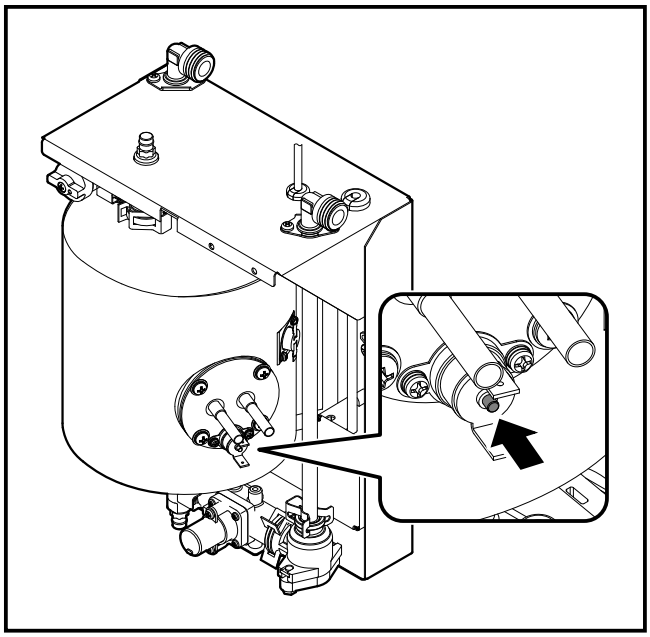
⚠注意

前面カバーはABS樹脂製ですので、強い衝撃などを与えないでください。
破損の原因となります。

※この操作は本機内部を操作しますので販売店もしくはサービス店など、専門の技術者へご依頼ください。

ESWM3には「空焚き検出」および「過昇温検出」（サーモスタットのトラブル時などに発生するオーバーヒート防止）兼用装置が装備されています。

何らかの理由で作動し運転が停止した場合には、運転スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから外した後、原因を取り除いたうえで前面カバーを外し、十分に温度が下がってから下図矢印部分の空焚、過昇温リセットボタンを押してください。



ストレーナーの清掃

管理技術者の方のみ

⚠警告

リセット操作時およびメンテナンス時以外は前面カバーを開けないでください。
感電、やけどのおそれがあります。

給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分に直接触れないでください。
やけどのおそれがあります。

⚠注意

前面カバーはABS樹脂製ですので、強い衝撃などを与えないでください。
破損の原因となります。

清掃前の準備

① P.29『長期間使用しないときは（排水の方法）』をご参照の上、排水を行ってください。

②以下のことを確認してください。

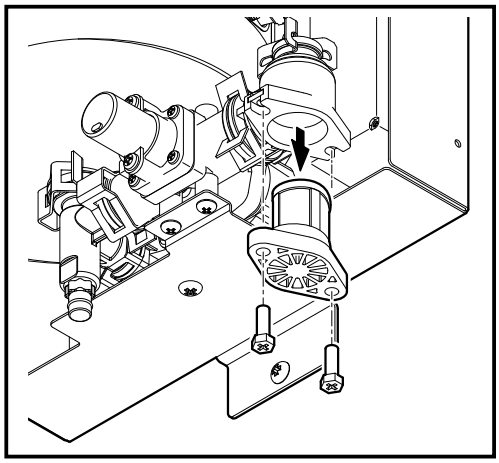
- **電源スイッチがOFFになっている。**
- **電源プラグがコンセントから外れている。**
- **止水栓が閉まっている。**

清掃を行う

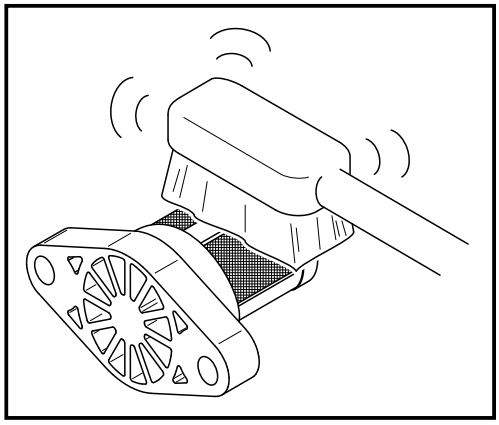
① P.35『前面カバーの取り外し方法』を参照し前面カバーを外します。

②固定ネジ２本を外し、ストレーナーを取り外します。

注：ストレーナーを取り外した際に少量の水が出ますので、水を受けるものを用意してください。



③取り外したストレーナーのフィルタ部分に詰まったゴミをナイロンブラシなどで取り除きます。



④ストレーナーを取り外しと逆の要領で取り付けた後、給水を行い、漏水がないか確認してください。漏水があった場合は再度取り付け直してください。
給水方法は、P.20『温水器に給水する』を参照。

⑤前面カバーを取り付けて終了です。

給湯接続チューブの取り外し方法

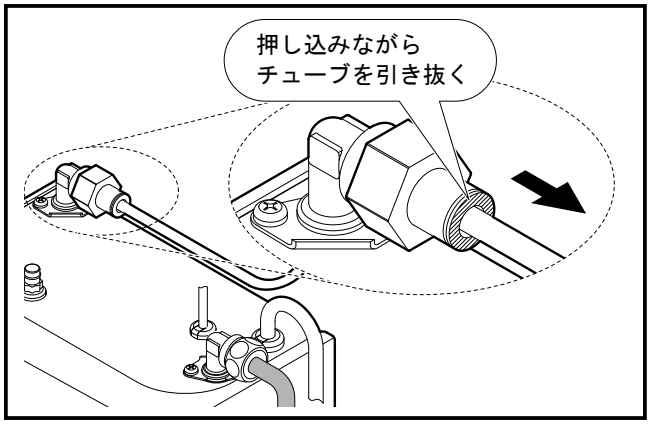
⚠警告

給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分に直接触れないでください。
やけどのおそれがあります。

⚠注意

前面カバーはABS樹脂製ですので、強い衝撃などを与えないでください。
破損の原因となります。

ワンタッチチューブコネクタの入り口付近（斜線部）を押しこんで、給湯接続チューブを引き抜いてください。



定流量弁の取り外し方法

⚠警告

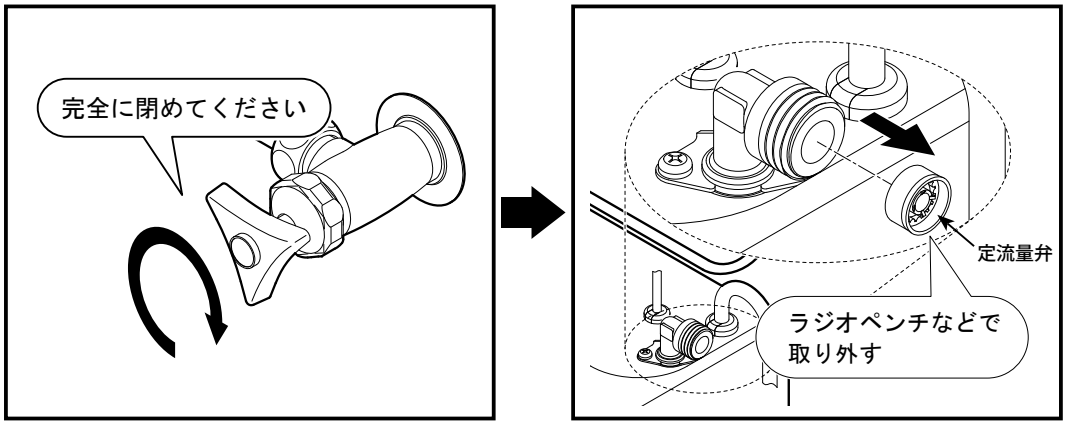
給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分に直接触れないでください。
やけどのおそれがあります。

⚠注意

前面カバーはABS樹脂製ですので、強い衝撃などを与えないでください。
破損の原因となります。

①止水栓を閉じた後で給水接続配管を外してください。

②給水口内部に取り付けられた定流量弁をラジオペンチ等で取り外してください。



アフターサービス

消耗品の定期交換について

下記に記載の部品は定期的な交換が必要な消耗部品です。劣化による動作不良や漏水を防止するため定期的に交換してください。(下表参照)交換(有償)、購入のご依頼は弊社フロント課または最寄りの営業所・地区販売会社にご依頼ください。

部品名	交換時期の目安	交換いただく理由
ヒーター	設置、交換日より 2～5年	長期間ご使用いただくことにより、経年劣化やスケール※による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。 (※水道水中のミネラル分が固着したもの。)
自動混合弁		
電磁弁		

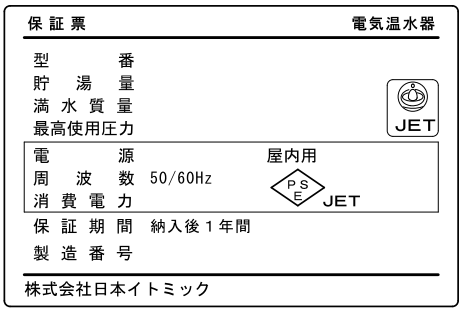
※上記以外でも使用状況によってパッキン類や電気部品交換が必要になる場合があります。使用頻度、環境によっては交換時期が早まる場合があります。

補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P.40の故障状況シートをコピーして必要事項にご記入いただき、FAXにてご送付ください。FAXをお使いになられていない場合は記入事項をお電話にてご連絡ください。(型番や製造番号等は本体貼り付けの保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。)


保証票　電気温水器

型　番
貯湯量
満水質量
最高使用圧力
JET

電　源　屋内用
周波数　50/60Hz
消費電力
PSE JET

保証期間　納入後1年間
製造番号

株式会社日本イトミック

(株)日本イトミック フロント課　FAX 03-3621-2163
TEL 03-3621-2161
※または最寄りの営業所もしくは地区販売会社へご連絡ください。

故障状況シート			
貴　社　名		ご担当者名	
ご　住　所			
T　E　L		F　A　X	
製品型番	ESWM3		
電源、電力		製造番号	
設置場所		保証期限	

状　　態

MEMO

【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から1年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、弊社フロント課または最寄りの営業所・地区販売会社にご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、弊社フロント課または最寄りの営業所・地区販売会社にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前に弊社フロント課または最寄りの営業所・地区販売会社にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
   （１）お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・湯槽内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
   （２）Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
   （３）工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
   （４）輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
   （５）専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
   （６）指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
   （７）温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
   （８）設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
   （９）電気・給水の供給トラブル等による不具合
   （10）配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
   （11）建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合
   （12）火災、爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
   （13）保証票の提示が無い場合
6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。

※1：日常のお手入れとはお客様ご自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認いただくとともに、不明点は弊社フロント課または最寄りの営業所・地区販売会社にご相談ください。

※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認いただくとともに、不明点は弊社フロント課または最寄りの営業所・地区販売会社にご相談ください。

■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、「アフターサービス」の項をご覧いただくか、弊社フロント課または最寄りの営業所・地区販売会社までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社日本イトミック

本社・営業本部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2121（代）**
FAX：03（3621）2130
〒131-0045　東京都墨田区押上 1-1-2（東京スカイツリーイーストタワー 24F）
ホームページ　http://www.itomic.co.jp/

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

一般電話・公衆電話・携帯電話の場合（市内通話料金でご利用可能です）

市内通話料でOK ナビダイヤル®

0570-011039

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。
※ＰＨＳ、ＩＰ電話からはご利用になれません。その場合には関東地区のお客様はフロント課、その他の地域のお客様は最寄りの営業所もしくは地区販売会社まで直接お電話ください。

フロント課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2161（代）**
FAX：03（3621）2163

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。
また、部品のご注文はフロント課で承っています。

リニューアル課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（5860）4992（代）**
FAX：03（3621）2163

《担当エリアと営業所・地区販売会社》

北海道地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:011（615）6681（代）**
（株）北海道イトミック　**FAX：011（615）7004**
〒063-0801　北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10（ラポール 24 軒 2 号館）
担当エリア：北海道地区全域

東北・新潟地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:022（773）6161（代）**
（株）東北イトミック　**FAX：022（773）6213**
〒981-3125　宮城県仙台市泉区みずほ台 4-3
担当エリア：青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県／新潟県

関東地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:03（3621）2121（代）**
（株）日本イトミック　**FAX：03（3621）2130**
〒131-0045　東京都墨田区押上 1-1-2（東京スカイツリーイーストタワー 24F）
担当エリア：東京都／千葉県／埼玉県／茨城県／栃木県／群馬県／山梨県／神奈川県／静岡県

中部・北陸地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:052（222）2561（代）**
（株）日本イトミック　中部営業所　**FAX：052（222）2559**
〒460-0002　愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12（アレックスビル 3F）
担当エリア：富山県／石川県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県／長野県

近畿地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:06（6226）0800（代）**
（株）日本イトミック　関西営業所　**FAX：06（6226）0802**
〒541-0048　大阪府大阪市中央区瓦町 3-4-7（KC ビル 9F）
担当エリア：大阪府／京都府／滋賀県／和歌山県／奈良県／兵庫県

中国・四国地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:082（240）1361（代）**
（株）日本イトミック　中国営業所　**FAX：082（240）1363**
〒730-0051　広島県広島市中区大手町 2-3-9（大手町中村ビル 2F）
担当エリア：鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／香川県／徳島県／愛媛県／高知県

九州・沖縄地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:092（481）3911（代）**
（株）日本イトミック　九州営業所　**FAX：092（481）3930**
〒812-0007　福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5
担当エリア：福岡県／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

ESW0D15002-0

VEGETABLE OIL INK

この印刷物は、再生紙と植物油インクを使用しています。

'15.09-1-1-1 ①